

第21回

次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺の まちづくり市民検討会 ～まちづくりWG～

令和4年8月21日



今回のまちづくりWGの進め方について

前回のまちづくりWGでは、第19回の振り返りと「これまでの検討結果から見えてきたもの（中間まとめ）」を踏まえ、これまで出た意見やアイデアを振り返って、取り組みたいことを出し合いました。

また、「まちづくりのコンセプト」など、まとめのイメージ共有と、これに対する意見を出し合いました。

今回のまちづくりWGでは、前回の振り返りを踏まえ、事務局がまとめたオープンハウスのパネル（案）を確認します。



① 「ワーク1」の検討結果 (事務局で整理)

【小グループ1】…デザインマップ・意見集計結果一覧に付せんを貼付

コンセプト

- どうしていきたいか (理想、方向性)
 - ウォークアブルなまち
- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・駅と公園が安心して歩ける
 - ・駅からの動線を配慮する
 - ・図書館のあり方、コンセプト
- 実現のためのポイント

④ 公園内の通路等の必要性

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・外周道路の拡張は必ずしも可
 - ・公園内の整備は可
- 実現のためのポイント
 - ・外周道路の廃止は、今回 (施設再編) の検討では難しい

【小グループ2】…デザインマップに付せんを貼付

① 駅南口ロータリー付近と自転車駐車場

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・歩行者だけでなく車の動線アクセスも意識
- 実現のためのポイント
 - ・大野北まちづくりセンター敷地との一体的な活用

⑥ 駅南口から見える公園内の工夫 (景観形成と新たな出入口の必要性)

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・道に案内を設置
 - ・安全性の確保
- 実現のためのポイント

① 駅南口ロータリー付近と自転車駐車場

【駅南口ロータリー + 自転車駐車場】

- どうしていきたいか (理想、方向性)
 - ・ロータリー・自転車駐車場の混雑解消、公園までの動線確保
- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・図書館敷地に駐輪場を移設
- 実現のためのポイント
 - ・事故を減少させたい
 - ・渋滞を減らしたい
 - ・金を生みたい

【自転車駐車場】

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・駐輪場は、動かすことによる動線の変更など、いろいろな意見あり
- 実現のためのポイント

【駅南口ロータリー】

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・ロータリーの再整備は、将来的な検討として必要
- 実現のためのポイント

⑥ 駅南口から見える公園内の工夫 (景観形成と新たな出入口の必要性)

- どうしていきたいか (理想、方向性)
 - ・奥深さを損なわない公園
- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・入口を多く設けない
- 実現のためのポイント

⑦ 大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・課題解決の土地として活用したい
- 実現のためのポイント

⑧ 図書館敷地(一部)

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・駅からの入口大切にしたい
- 実現のためのポイント
 - ・建物は建てずに広がり

その他 (跡施設(図書館)、鹿沼公園・新たな施設、自動車駐車場)

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・野球場を廃止し、駐車場と複合施設に
 - ・図書館の施設を残す
- 実現のためのポイント
 - ・ジョギング道などの調整が必要

⑦ 大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・跡地 △ 市で決めた施設 ○ 住民の自由な利用 ex. 芝広 (町田) 大学生も参入しやすそう
- 実現のためのポイント
 - ・跡地の活用は計画時点の情勢を踏まえて判断
 - ・パブコメや検討会での意見はふまえて、それにとらわれることなく、大事にしつつ…

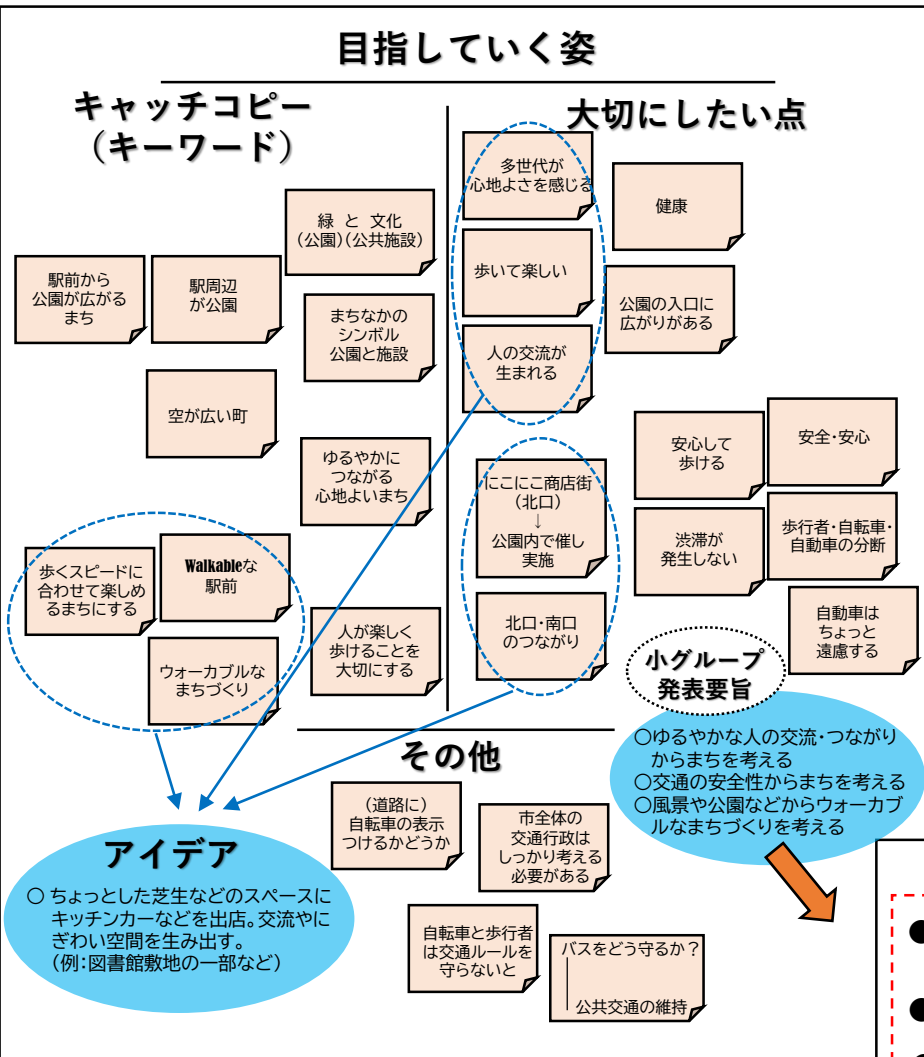
【駅南口ロータリー】

- どうやって取り組むか (方法、手段)
 - ・地域で利用できる場として残す
 - ・公園のまち
- 実現のためのポイント
 - ・(売る・貸すのまえに) 町田シバヒロ的なのものある駅前 公園につながる

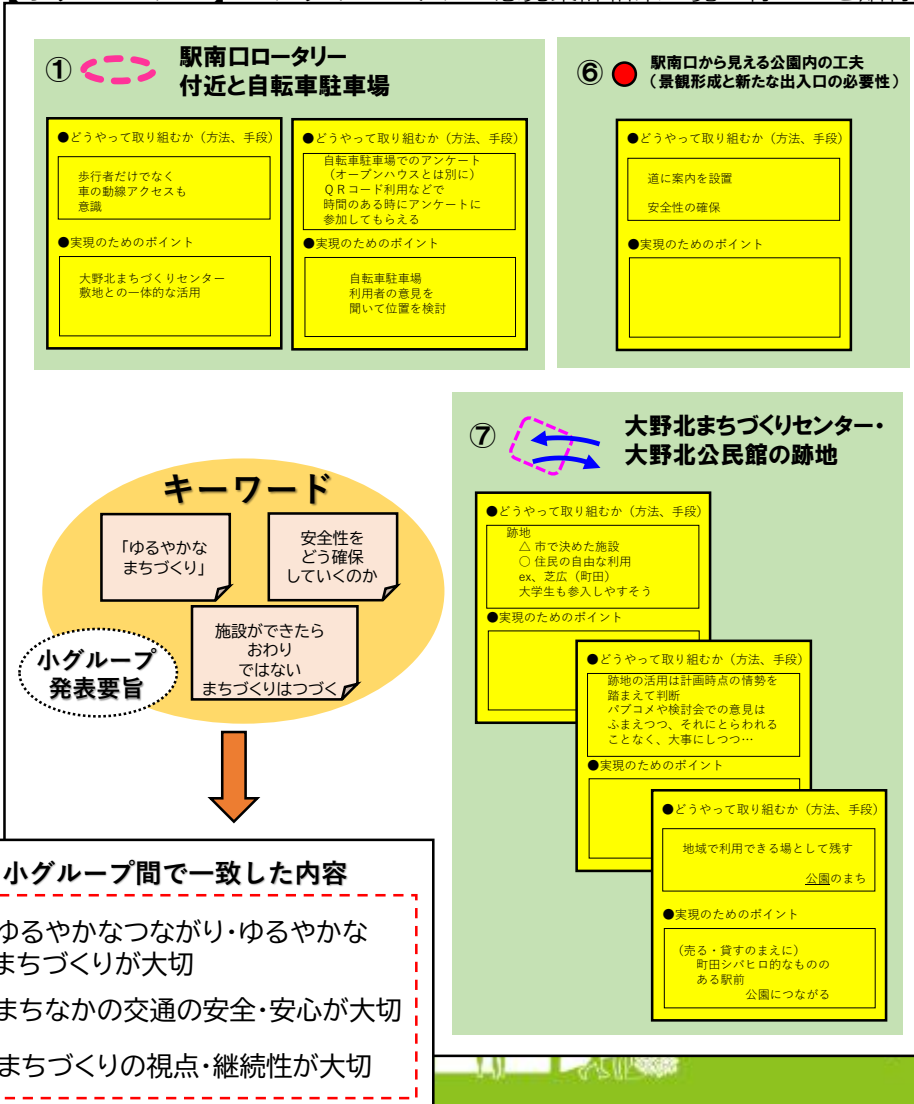
② 「ワーク2」の検討結果 (事務局で整理)

- * 【小グループ1】は、ワーク2を中心に検討し、併せてワーク1に通じる一部のアイデアを抽出。
- * 【小グループ2】は、ワーク1を引き続き検討し、併せてワーク2に通じるキーワードを抽出。

【小グループ1】…模造紙に付せんを貼付



【小グループ2】…デザインマップ・意見集計結果一覧に付せんを貼付



③-①「ワーク1」で出た意見を事務局で整理

小グループ1

●駅南口から公園までの見通しやアクセスのしやすさ

- ・交通量増加の対応は、いきなり交通規制（一方通行）をかけるのではなく、ゆるやかな案内表示、看板設置を行うなど段階的な取組が必要

●駅南口ロータリー

- ・ロータリー拡張に伴う南口交番の移設は、移設場所や予算対応等の様々な課題あり
- ・ロータリーは、魅力を高めるためのレイアウトの検討により、例えば、憩いの場（ベンチの設置）や案内板の設置等、必要最低限の再整備を検討
- ・ロータリーの拡張再整備は、公園、複合施設整備後の将来的な検討課題（長期的な視点で検討）

●公園内の通路等の必要性

- ・現在の外周道路に自転車レーンを整備するのは技術的に困難
- ・道路法の道路（図書館と公園の間）は単に廃道するのは困難
- ・公園内で通路を確保し、歩行者と自転車の分離による安全対策を行うことは可能性あり

●老朽化した自転車駐車場の建替え

- ・駅前であるが故に、自転車、人、車が混雑するため、一部（機能）を分離すべき（渋滞・事故を減少させる）
- ・自転車駐車場を移すことで、交通の危険性等、新たな問題が出てくるので、今回の検討で決めるのは難しい
- ・駅前の場所なので、お金を生み出すことを考えるべき

●まちづくりセンター・公民館跡地の活用

- ・自転車駐車場を現地建替えする場合、仮設の設置場所として活用可能（課題解決を図るためのエリア）

●図書館敷地（駐車場部分等）の活用

- ・図書館敷地に一部自転車駐車場を設置するのとも一考
- ・駐車場部分が通れば、既存の公園出入口が生かせる
- ・視認性、アクセス性から何も建てない使い方が大切

●まちづくりの視点等

- ・都市マス上、淵野辺駅周辺は地域拠点の位置付けで誘導と維持という考え方
- ・歩いて楽しめる、安心して歩ける等、歩行者目線のまちづくりがより大切（ウォークアブル）
- ・まちづくりの視点から、複合施設・自動車駐車場の位置を野球場にすることも一考（影響が少ない等）

まちづくりWG内での共有

<小グループ1の発表>

- ✓ 共通認識が得られた内容は、図書館敷地（駐車場部分）の使い方とロータリーの再整備の考え方の2点
- ✓ 図書館敷地（駐車場部分）は、駅から公園への視認性・アクセス性を高めるためにも、建物を建てない使い方が好ましい（課題解決を図るために大切なエリア）
- ✓ ロータリーの再整備は、施設再編と合わせた必要最低限のレイアウト検討により、ソフト的な取組（憩いの場の創出や案内板の設置）を検討
- ✓ ロータリーの拡張再整備は、施設再編後の人流等のまちの情勢・動向を踏まえた中で、将来的なまちづくりへの対応の検討課題として整理
- ✓ ロータリーに近接するまちセン・公民館跡地は、自転車駐車場の建替え（仮設か本設か）と関連して、課題解決を図るために大切なエリア
- ✓ 自転車駐車場の建替え場所の考え方として、現地と移転（機能分散）の二通りある（いずれも交通の安全性を確保していくためのアイデア）

小グループ2

●老朽化した自転車駐車場の建替え

- ・財政的にはまちづくりセンター・公民館跡地に仮設ではなく、本設で建替えた方が良い場合あり
- ・自転車駐車場の位置等について、オープンハウスで傾向を把握できたら良い
- ・自転車駐車場の利用者から意見聴取できるよう、やり方を工夫した方が良い（例：アンケートの実施、駐車場に案内を出してQRコードで読み取り等）
- ・オープンハウス告知について、自転車駐車場に掲示を検討する
- ・図書館跡地も自転車駐車場の候補地（施設配置の状況にもよる）
- ・建替えの際の意見聴取に当たり、利便性だけでなく、財政面、安全性等のメリット・デメリットを示すことが必要
- ・財政状況を踏まえると、利用料金を値上げしたらどうか

●その他

- ・信号機は他の信号機と連動しており、時間を変えると渋滞を引き起こす可能性あり（よく検討することが必要）

●まちづくりセンター・公民館跡地の活用

- ・跡地活用はここで決めるのではなく、将来の情勢も考慮して柔軟性を持って検討していくべき
- ・留保すべき跡地と財政収入（定借等）を得る跡地は、分けて整理する
- ・施設再編が先で自転車駐車場の建替え、跡地活用はその後のことで全部結論を出すのではなく、継続しての議論が必要（予算上の問題もあり優先順位を付け、段階的にやることを考えるべき）
- ・本事業は財源確保とセットという考え方である
- ・地域の商店街、大学生、こどもの催しでの活用等、北口南口のつながりや交流を深める場、跡地活用の実証実験をしたらどうか
- ・公民館に人が集まっているということは、もともと来やすい場所
- ・施設再整備で実質的な公園スペースが減るので、交流等のオープンスペースにすることも一考
- ・跡地活用の運営部分を公共、民間のどちらに任せるか（公共に任せると放置してしまう）

- ・景観と利便性は相反する
- ・淵野辺は公園のまちというイメージ

<小グループ2の発表>

- ✓ 自転車駐車場の建替えする場合の位置の議論は、自転車利用者の意見を聞いて決定していく枠組みが必要ではないか
- ✓ 跡地活用は施設再編後（基本計画策定後の約6年後）となり、現在と実際の跡地発生時とでは、ニーズ等の状況が変わるものと考え。その時々を踏まえて判断した方が良い。市民検討会やパブリックコメントを踏まえつつも、これだけにとらわれることなく、広く考えていく必要がある
- ✓ 跡地活用のアイデアとして、町田市役所跡地のシバヒロのように、市民が自由に使えるスペースも良いのでは（売る・貸すを決める前の活用として）
- ✓ 市の取組である森ラボ（森のイノベーションラボ fujino）の実証実験のように、跡地活用も実証実験に取り組んでも良いのではないか
- ✓ 財政的な課題もあるが、複合施設の再整備と並行して、その時々を状況を見ながら、跡地活用を判断していけば良いのでは

③-② 「ワーク2」で出した意見を事務局で整理

小グループ1

●キャッチコピー (キーワード)

- ・ウォーカブルなまちづくり (人が楽しく、安心して歩けることを優先)
- ・公園と公共施設=緑と文化、多世代がゆるやかにつながる、心地よいまち
- ・駅前から公園が広がるまち、空が広いまち、歩いて風景を楽しみたい
- ・緑が見えることで、駅・まち全体が公園
- ・緑と文化、安全で健康な公園

●大切にしたい点

- ・北口と南口の連携について、商店街のイベントを南口で開催、学生のイベントを公園で開催する等
- ・健康 (公園内にジョギングコースの設置)
- ・歩行者、自転車、自動車の分断 (渋滞が発生しない、事故が起こらない、交通が整理されたまち)
- ・渋滞や事故が発生しないのもウォーカブル

●その他 (交通)

- ・公共交通 (バス) をどう守っていくのか、まちの大きな課題

●アイデア (ワーク1の追加)

- ・歩きやすい、歩いて安心というだけでなく、芝生広場のちょっとしたスペースにキッチンカー等が出ることで、交流 (北口も含む) やにぎわいを生み出す効果あり (例: 図書館敷地の一部等を活用)

●コンセプトに繋がるキーワード

- ・人のゆるやかな交流からまちを考える、交通の安全性からまちを考える、風景や公園からまちを考える

●その他 (課題)

- ・本来は施設再編のまちづくりを中心に議論したが、それとは関係なく、自転車に関するものが共通課題となっており、再編事業で処理できるかどうか

まちづくりWG内での共有

<小グループ1の発表>

- ✓ 「目指していく姿」については、風景や公園、つながり、交通の安全性の視点が重要
- ✓ 風景や公園に特化したキーワードとしては、「駅前から公園が広がるまち」「空が広いまち」「駅周辺・まち全体が公園」等
- ✓ 人の歩くスピードに合わせたまちづくり、「ウォーカブルなまちづくり」を中心に考えていく
- ✓ つながりを求めるキーワードとしては、「ゆるやかなつながり」
- ✓ ゆるやかにつながりながらも、「心地よいまち」にしていきたい
- ✓ 自転車駐車場に向かう2本の混雑道路が危険、安心して安全に歩ける、渋滞が発生しない等、交通の安全性の確保が課題
- ✓ 一方、公共交通 (バス) の維持をどうしていくか、交通行政をしっかりと考えていく必要あり

小グループ2

●駅南口ロータリー

- ・仮にまちづくりセンター・公民館跡地が市民利用のスペース (例: 芝生広場) となるのであれば、そこでの一体性を確保する意味で、ロータリーの再整備も考えられる
- ・市民が利用する送迎用の一時駐車場が一番良い場所にあるが、ロータリーの脇の方でも良いかも知れない
- ・複合施設整備後、最終的には、人の誘導、アクセシビリティを考えると、ハード面の対応も必要ではないか
- ・ロータリーの再整備は、視認性の確保 (公園までの見通し) よりも、交通の安全性を重視した最低限の再整備と考える (加えて、芝生広場等の市民利用スペースとの一体性を考慮した再整備)
- ・淵野辺はJAXAだけじゃないことをアピールしたい

●自転車駐車場

- ・公園内は自転車に乗るのは禁止だが、まちセン・公民館敷地に自転車駐車場を造ってしまうと、公園内を走る自転車が増加する可能性あり
- ・自転車駐車場が分散してしまうと、安全対策等で検討すべき範囲が広がる懸念あり

●駅南口から見える公園内の工夫

- ・案内表示について、歩行者の視線が歩道に向くので、歩道上に案内表示をすると効果的
- ・キャラクターを活用して、案内看板や案内表示を作れば、経費をかけずに楽しみながら公園までに行けるのでは
- ・歩道に案内表示をすることで、公園の魅力だけでなく、安全性の観点から、人と車の動線が交錯しないような対応につながる (施設の誘導と安全性の誘導)

●その他

- ・淵野辺に図書館があることを知らない学生がおり、駅での案内が足りないのでは

●コンセプトに繋がるキーワード

- ・ゆるやかなつながりを目指しているまちづくりであって欲しい
- ・交通の安全性を大切にしたい
- ・まちづくりは、施設ができたからといって終わりではない

<小グループ2の発表>

- ✓ ロータリーは、送迎用の一時駐車場があり、利用時の課題もあるので、歩行者だけでなく、車の動線・アクセスを意識した必要最低限の再整備を検討
- ✓ 駅から公園までの道路 (歩道) に公園までの案内表示があれば意識が行くため、動線や安全性の確保につながる
- ✓ ゆるやかなつながり、ゆるやかなまちづくりという言葉を大切にしたい
- ✓ 安全性をどう確保していくかを重点的に検討したため、コンセプトに反映していきたい
- ✓ まちづくりは施設ができて終わりではなく、これからも続くため、そういった視点を大切にしたい

第18～20回「まちづくりWG意見集計結果 (デザインマップ)」

【駅周辺の状況】

- ← 駅北口への主要動線
- ↔ 北口と南口をつなぐ道路・通路
- 駅南口から公園までの基本動線
- 鹿沼公園 (● 公園内の既存の出入口)
- 🅑 自転車駐車場 🅒 図書館
- 👉 図書館と鹿沼公園間の道路

【検討が必要な場所】

①～⑧(マップ上に「四角囲み」で貼付)

※四角囲み内の「●」は第19回、「◆」は第20回市民検討会まちづくりWGで出された意見

【貼付された付せん】

それぞれの立場に立った考え方

※ 付せんは、第18回市民検討会まちづくりWGで出された意見

⑦ 大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地

- 自転車駐車場を駅前に残す意見が多い (建設時に大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地を駅前自転車駐車場として利用してはどうか)
- まちの課題を解決するソリューションゾーンにならないか
- 売却してしまうと、まちのコントロールが難しい (民間に貸す場合の条件などについて検討できないか→条件を付けてしまう→民間が提案しにくくなる場合がある)
- 課題解決の土地として活用したい
- 跡地の活用は計画時点の情勢を踏まえて判断 (バリエーションや検討会で意見はあつまえつつ、それにとらわれないこと、大事にしつつ…)
- 跡地、△市で決めた施設、○住民の自由な利用 (ex. 芝広 (町田)、大学生も参入しやすい)
- 地域で利用できる場として残す、公園のまち (売す、貸すの考えに、町田シバヒロのもののある駅前、公園につながる)

④ 公園内の通路等の必要性

- 3つの用途のコースを設置 (段差がなく、水はけ、ゴムマップ)
- 外周をつくり、交通も、健康も (間接的: 歩行者、自転車利用者、安全性: 自転車利用者 路側道で案内)
- 公園内道路に自転車レーン置く必要はあるのか? (地元の現状を関係者がよく知る)
- 必要なのは外周なのかもっと考えたい (公園の出入口の場所を改めてどこがいいのか考えてから園内をどう抜かれるか考えられないか)
- 外周道路の拡張はむずかしい、公園内の整備は可 (外周道路の廃止は、今回 (施設再編) の検討では難しい)
- ジョギング道などの調整が必要

② 駅南口から公園までの見通しやアクセスのしやすさ

- 公園への視認性の確保のため図書館敷地には建物建てない (デザインを極め、ロータリーのレイアウトを検討)
- 歩きたくなる導線づくり (歩道にしかけex子ども (地元の小学校など) の作品展示・・・?)
- 歩きたくなる道 (一番は安全な道、ゆっくりに歩ける道とは?)

⑧ 図書館敷地(一部)

- 公園の出入口について、アクセスを意識して、駅から鹿沼公園までの道を直進したところに入口を作った方が良いという意見と、現在の出入口を維持し、ゆっくりに歩いていきたいという意見がある (今の図書館の駐車場の敷地に歩ける道を直進すれば、現在の公園の出入口のままでも良いのではないか。また、視認性も高まるのではないか)
- 図書館敷地に駐輪場を移設 (事故を減少させたい、渋滞を減らしたい、金を生みたい)
- 駅からの入口大切にしたい (建物は建てずに広がり)

① 駅南口ロータリー付近と自転車駐車場

【駅南口ロータリー付近】

- ロータリーの必要最低限の再整備 (公園までの見通しを良くするため、ロータリーのレイアウトを検討)
- 「風盾」の価値を人々に認識してもらいたい (便利さ、能率を追求しすぎない)
- 安全性の確保 (駅前高い木があるとコープライトの設置)
- ロータリー、ハードの取組 (将来的には取組が必要)、魅力を高めるソフトな取組
- ロータリーの再整備は、将来的な検討として必要 (道路法の道路施設でもあり、今回 (施設再編) の検討では難しい)
- ロータリーの交差の移設 (様々な課題・検討が必要)
- 歩行者だけでなく車の動線アクセスも意識 (大野北まちづくりセンター敷地との一体的な活用)

【自転車駐車場】

- 駐輪場は現在地で建設 (公民館跡地を仮設で利用)
- 安全性の確保 (駐輪場前→歩行者、自転車利用者向け)
- 駐輪場の場所はここまま、建設費時のデザインで使い易い安全な確保 (建設時は仮設、公民館・児童館の跡地を利用することで用地確保と駅近を実現)
- 駐輪場は、動かすことによる動線の変更など、いろいろな意見あり
- 利用者は今の場所がいい、新しい場所でも新たな課題が出る(事故が起かないように考えなければいけない)
- 自転車駐車場のアンケート(オープンハウスとは別に)、QRコード利用などで時間のある時にアンケートに参加してもらえ(自転車駐車場の利用者の意見を聞いて位置を検討)
- 図書館敷地に駐輪場を移設(事故を減少させたい、渋滞を減らしたい、金を生みたい)

⑥ 駅南口から見える公園内の工夫・景観形成と新たな出入口の必要性

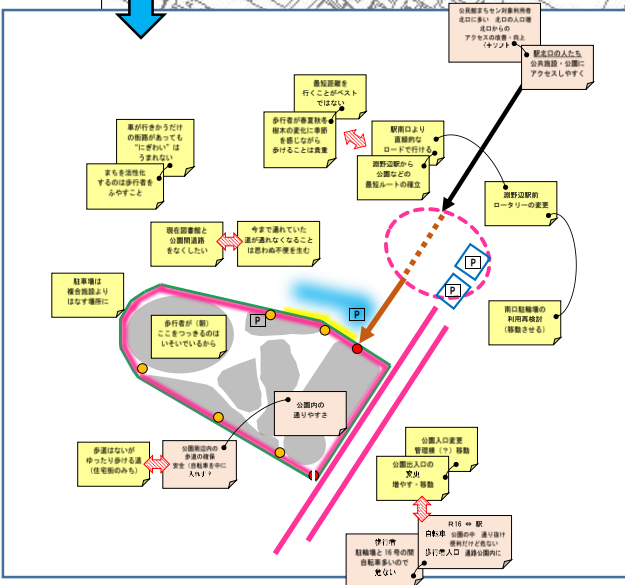
- 公園入口を変更する (正面に) スマートな人の流れ (デザインを検討)
- 公園の魅が広がる案内板の設置
- 利用者の多い駅前に設置
- ex. 「公園内歩くのみかん3個消費できる」
- 外からアプローチする「行きたい!」と思うような
- 奥深さを損なわない公園 (入口を多く設けない)
- 道に案内を設置、安全性の確保

③ 駅南口への2つのアクセス道路(渋滞時の歩行者と自転車の混在)

- 駅前駐輪場を駅前から選んで、この問題は解決したいという (道を見ている時はしっかり専門家を呼んで調べてもらう)
- 朝夕の危険・不便をなくしたい、自転車多くなかなか右折できない (朝夕の交通規制? 可成り、自転車の背骨色の時間を変える (新築中する時間帯))

⑤ 移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討

- 施設配置により判断 (利用者アンケート)
- 公園内の道路とあわせて考えたい (出入口をかえたい)
- 鹿沼公園の「奥深さ」を損なわない (出入口をかえたい、能率や効率を追求しすぎて、せつけない)
- 今でている案だけじゃなく、他の可能性もあるのでは? (利用者や周辺に住む人が何の目的で公園に来ているか調査)



< 凡 例 >

- ⑰…第17回まちづくりWGの意見
 - ⑱…第18回まちづくりWGの意見
 - ⑲…第19回まちづくりWGの意見
 - ⑳…第20回まちづくりWGの意見
- 下線部分…ワーク中に付せん又はホワイトボードに記載された意見

第17～20回「まちづくりWG意見集計結果一覧1/5」

まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア		
		ソフト的な取組	ハード的な取組	
<p>まちづくりのコンセプト</p> <p>①コアのコンセプトが決まっていないと何をどこに置くかというだけの議論になり、それはまちづくりではない</p> <p>②次世代にひきつづけるのは再整備、××再開発</p> <p>③経済的に豊かでも一部の者のためだったり騒々しいばかりで落ち着いて住めないまちはいやだ</p> <p>④「豊かさ」と「便利さ」はちがう</p> <p>⑤北口と南口の関係・つながり</p> <p>⑥ゆるやかなつながり（多世代交流、コミュニケーションからの変換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域・次世代に残す ・広場（遊憩機能） ・商業はどこまで？（北口と南口に求められるもの） ・高齢者、線路を跨ぐのが大変（一定程度の店・規模） ・財政負担 <p>⑦まちのにぎわい、人の動き</p> <p>⑧まちづくりの視点から見たコミュニケーション、公共施設、公園について</p> <p>⑨「賑わいのまち」か「落ち着いたまち」か</p> <p>⑩賑わいを持つまちづくり（賑わいは南口も必要）</p> <p>⑪寂れさせないまちづくりがあって、賑わいに繋がる</p> <p>⑫まちづくりは、施設が出来たら終わりではなく、その先も考えていく</p> <p>⑬何を大切にしていくか、何を残していくかを優先順位付け</p> <p>⑭人の活動、人の動き（流れ）を意識した議論が必要</p>	<p>【小グループ1：ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ウォーカブルなまち（駅と公園が安心して歩ける、駅からの動線を配慮する、図書館のあり方、コンセプト） ②歩行者目線のまちづくり、モータリゼーションから離れたまちづくり（駐車場の縮小など） ③都市マス上、淵野辺駅周辺は地域拠点の位置付けで誘導と維持という考え方 <p>↓</p> <p>④歩いて楽しめる、安心して歩ける等、歩行者目線のまちづくりがより大切（ウォーカブル）</p> <p>【小グループ1：ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①駅前から広がるまち、駅周辺が公園、空が広い町 ②緑（公園）と文化（公共施設）、まちなかのシンボル公園と施設 ③ゆるやかなつながる心地よいまち ④歩くスピードに合わせて楽しめるまちにする、walkableな駅前、ウォーカブルなまちづくり、人が楽しく歩けることを大切に ⑤多世代が心地よさを感じる、歩いて楽しい、人の交流が生まれる ⑥健康 ⑦公園の入口に広がりがある ⑧ここにご商店街（北口）→公園内で催し実施、北口・南口のつながり ⑨安心して歩ける、安全・安心、渋滞が発生しない、歩行者・自転車・自動車の分断、自動車はちょっと遠慮する ⑩（道路に）自転車の表示つけるかどうか、自転車と歩行者は交通ルールを守らないと、市全体の交通行政はしっかり考える必要がある、バスをどう守るか？（公共交通の維持） 	<ul style="list-style-type: none"> ①ウォーカブルなまちづくり（人が楽しく、安心して歩けることを優先） ②公園と公共施設＝緑と文化、多世代がゆるやかにつながる、心地よいまち ③駅前から公園が広がるまち、空が広いまち、歩いて風景を楽しみたい ④緑が見えることで、駅・まち全体が公園 ⑤緑と文化、安全で健康な公園 ⑥北口と南口の連携について、商店街のイベントを南口で開催、学生のイベントを公園で開催する等 ⑦健康（公園内にジョギングコースの設置） ⑧歩行者、自転車、自動車の分断（渋滞が発生しない、事故が起こらない、交通が整理されたまち） ⑨渋滞や事故が発生しないのもウォーカブル ⑩公共交通（バス）をどう守っていくのか、まちの大きな課題 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ゆるやかな人の交流・つながりからまちを考える、交通の安全性からまちを考える、風景や公園などからウォーカブルなまちづくりを考える 【小グループ2：ワーク2】 ②淵野辺は公園のまちというイメージ ③「ゆるやかなまちづくり」、安全性をどう確保していくのか、施設ができたらおわりではなく、まちづくりはつづく <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ゆるやかなつながり・ゆるやかなまちづくりが大切、まちなかの交通の安全・安心が大切、まちづくりの視点・継続性が大切 		
<p>① 南口ロータリー付近と自転車駐車場</p> <p>①南口ロータリーの景色は美しい、もう他の鉄道駅には残っていない（昔はどこにでもある風景だった）</p> <p>②緑を残すこと、駅前を守ること</p> <p>③南口に降りた施設利用者がロータリーがあるため回り、直線の動線を考えられないか</p> <p>④「風景」の価値を人々に認識してもらいたい（便利さ、効率を追求しすぎない）</p> <p>⑤木が多く夕方、夜は暗い印象（安全に通れるように通路の脇にフットライト）</p> <p>⑥視野の確保に拡張・再整備が必要だが、必要以上の拡張は路上駐車を繋がる</p> <p>⑦ロータリー、ハードの取組（将来的には取組が必要）、魅力を高めるソフトな取組</p> <p>⑧ロータリーの再整備は、将来的な検討として必要（道路法の道路施設でもあり、今回（施設再編）の検討では難しい）</p> <p>⑨ロータリーの拡張再整備は、公園、複合施設整備後の将来的な検討課題（長期的な視点で検討）</p> <p>⑩ロータリーの拡張再整備は、施設再編後の人流等のまちの情勢・動向を踏まえた中で、将来的なまちづくりへの対応への検討課題として整理</p> <p>⑪複合施設整備後、最終的には、人の誘導、アクセシビリティを考えると、ハード面の対応も必要ではないか</p> <p>⑫ロータリーの再整備は、視認性の確保（公園までの見通し）よりも、交通の安全性を重視した最低限の再整備と考える（加えて、芝生広場等の市民利用スペースとの一体性を考慮した再整備）</p>	<p>①安全性の確保（駅前高い木があるとごうフットライトの設置）</p> <p>②ロータリーは、魅力を高めるためのレイアウトの検討により、例えば、憩いの場（ベンチの設置）や案内板の設置等、必要最低限の再整備を検討</p> <p>③ロータリーの再整備は、施設再編と合わせた必要最低限のレイアウト検討により、ソフト的な取組（憩いの場の創出や案内板の設置）を検討</p> <p>④淵野辺はJAXAだけじゃないことをアピールしたい</p>	<p>①ロータリー等の再整備</p> <p>②老朽化した自転車駐車場の場所にロータリーを移設し、駅から直線でアクセス可能な道の整備も一考（車、自転車、歩行者が交錯しないよう安全性の面からも）</p> <p>③ロータリー、自転車駐車場の位置の検討</p> <p>④駅南口にデッキを作れば、北口から公園・新たな施設へのアクセスも良くなる</p> <p>⑤ロータリーの必要最低限の再整備（公園までの見通しを良くするため、ロータリーのレイアウトを検討）</p> <p>⑥ロータリーの交番の移設（様々な課題・検討が必要）</p> <p>⑦歩行者だけでなく車の動線アクセスも意識（大野北まちづくりセンター敷地との一体的な活用）</p> <p>⑧ロータリー拡張に伴う南口交番の移設は、移設場所や予算対応等の様々な課題あり</p> <p>⑨仮にまちづくりセンター・公民館跡地が市民利用のスペース（例：芝生広場）となるのであれば、そこの一体性を確保する意味で、ロータリーの再整備も考えられる</p> <p>⑩市民が利用する送迎用の一時駐車場が一番良い場所にあるが、ロータリーの脇の方でも良いかも知れない</p>		

<凡 例>

- ⑰…第17回まちづくりWGの意見
 - ⑱…第18回まちづくりWGの意見
 - ⑲…第19回まちづくりWGの意見
 - ⑳…第20回まちづくりWGの意見
- 下線部分…ワーク中に付せん又はホワイトボードに記載された意見

第17～20回「まちづくりWG意見集計結果一覧2 / 5」

まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
		ソフト的な取組	ハード的な取組
<p>駅南口ロータリー付近と自転車駐車場</p>	<p>・自転車駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑰交通問題、自転車置き場の検討 ⑰次世代のための土地（自転車駐車場）を残す ⑰一度売却してしまうと戻ってこない ⑰自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞 ⑱駅前にあるから便利だが、その場所がゆえに生じる問題もある ⑱定期利用者は駅から離れても安全に使いたい ⑱一時利用者は駅前にある方が便利 ⑱駅から離れると、路上駐輪が増える ⑱他の駅は遠いところにある ⑱老朽化している ⑱現地建替は財政的に負担も大きい ⑱淵野辺駅第2自転車駐車場ができて放置自転車が解消された ⑱自転車駐車場周辺が歩行者と自転車の交錯のリスクが高い ⑱駐輪場は、動かすことによる動線の変更など、いろいろな意見あり ⑱利用者は今の場所がいい、新しい場所でも新たな課題が出る（事故が起こらないように考えなければいけない） ⑱駅前であるが故に、自転車、人、車が混雑するため、一部（機能）を分離すべき（渋滞・事故を減少させる） ⑱自転車駐車場を移すことで、交通の危険性等、新たな問題が出てくるので、今回の検討で決めるのは難しい ⑱自転車駐車場の位置等について、オープンハウスで傾向を把握できたら良い ⑱オープンハウス告知について、自転車駐車場に掲示を検討する ⑱自転車駐車場の建替え場所の考え方として、現地と移転（機能分散）の二通りある（いずれも交通の安全性を確保していくためのアイデア） ⑱公園内は自転車に乗るのは禁止だが、まちセン・公民館敷地に自転車駐車場を造ってしまうと、公園内を走る自転車が増加する可能性あり ⑱本来は施設再編のまちづくりを中心に議論したいが、それとは関係なく、自転車に関することが共通課題となっており、再編事業で処理できるかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ⑰売却よりも定借が好ましい ⑱安全性の確保（駐輪場前→歩行者・自転車利用者わける） ⑱自転車駐車場でのアンケート（オープンハウスとは別に）、QRコード利用などで時間のある時にアンケートに参加してもらえらる（自転車駐車場の利用者の意見を聞いて位置を検討） ⑱自転車駐車場の利用者から意見聴取できるよう、やり方を工夫した方が良い（例：アンケートの実施、駐車場に案内を出してQRコードを読み取り等） ⑱建替えの際の意見聴取に当たり、利便性だけでなく、財政面、安全性等のメリット・デメリットを示すことが必要 ⑱財政状況を踏まえると、利用料金を値上げしたらどうか ⑱自転車駐車場の建替えする場合の位置の議論は、自転車利用者の意見を聞いて決定していく仕組みが必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ⑰自転車駐輪場の位置を考える ⑱駅の一等地にあるため、別の利用価値（商業）も考えられる ⑱ロータリー、自転車駐車場の位置の検討 ⑱自転車駐車場は駅利用者にとって利便性の高い位置にあるが、ロータリーの位置検討となると、自転車駐車場の位置も検討しなければならない ⑱別の場所に移して、現在の場所を別のものに使用する ⑱自転車駐車場が現在の位置にあるため課題が生じている。移転すれば解決するか ⑱駐輪場は現在地で建替え（公民館跡地を仮設で利用） ⑱駐輪場の場所はこのまま、建替え時のデザインで使い易さ台数増を確保（建替時仮設は、公民館・児童館の跡地を利用することで用地確保と駅近を実現） ⑱建替時に使いやすいや台数増を確保できないか ⑱自転車駐車場を駅前に残す意見が多い（建替時に大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地を仮設の自転車駐車場として利用してはどうか） ⑱図書館敷地に駐輪場を移設（事故を減少させたい、渋滞を減らしたい、金を生みたい） ⑱（自転車駐車場は）駅前の場所なので、お金を生み出すことを考えるべき ⑱図書館敷地に一部自転車駐車場を設置するのをも一考 ⑱財政的にはまちづくりセンター・公民館跡地に仮設ではなく、本設で建替えた方が良い場合あり ⑱図書館跡地も自転車駐車場の候補地（施設設置の状況にもよる）
<p>・商業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑰商業の深まり、距離、北口遠い、年代 ⑰「商業」をどこまで考えるか（北口と南口に求められるもの） ⑰買物困難者（高齢者等）は線路を跨ぐのが大変 ⑰（地域の）購買意欲に見合ったもの ⑰商業の制限は財政負担に影響する ⑱まちの購買力は高くなく、駅前通りは車が多いが店舗利用は歩行者がメイン ⑱（自転車駐車場は）駅前の場所なので、お金を生み出すことを考えるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ⑱南口まちづくり協定（1階は店舗） ⑰一定程度の規模の店舗は必要 ⑱大きな商業施設より小さな店舗、楽しみながらお金を落としてくれるまちがいい 	<ul style="list-style-type: none"> ⑱駅の一等地にあるため、別の利用価値（商業）も考えられる
<p>・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⑰駅から「緑」が広がる南口 ⑰空の広さを残す ⑰緑を残すこと、駅前を守ること ⑰まちづくりでの景観は重要 ⑱「風景」の価値を人々に認識してもらいたい（便利さ、能率を追求しすぎない） ⑱景観と利便性は相反する ⑱淵野辺は公園のまちというイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑱駅南口から歩いてくる道は、曲がらせることで周りを魅せる道 ⑱駅周辺に公園の魅力が伝わるような案内板の設置 	

第17～20回「まちづくりWG意見集計結果一覧3/5」

<凡 例> ⑰…第17回まちづくりWGの意見 ⑳…第20回まちづくりWGの意見
 ⑱…第18回まちづくりWGの意見 ⑲…第19回まちづくりWGの意見
 下線部分…ワーク中に付せん又はホワイトボードに記載された意見

まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
		ソフト的な取組	ハード的な取組
② 駅南口から公園までの見直しやアクセスのしやすさ	⑰車がそれなりに通る道、歩行者が歩きやすい道、景色を見ながら楽しんでいける道、緑がある道に分けられる ⑰駅に近いので施設利用者の割合は歩行者が多いのでは、動線は歩行者を優先に考える必要あり ⑰駅南口から施設が確認できる状態をつくりたい（公園が見えやすい、見通しが良い動線が大切） ⑰複合施設が駅から確認して行ける位置にあると良い ⑰ATMがあるところに路上駐車が ⑰公園の木が見えれば良い ⑰デザインが大事 ⑰歩きたくなる道（一番は安全な道、ゆっくり歩ける道とは？） ⑰大きな土木工事ではなく、ちょっとした工夫で何とかなるなら、失敗してもやり直しやすい ⑰道自体に楽しめる工夫があったら良い	⑰交通規制（一方通行等）によるコントロール ⑰交通を改善（一方通行の指定）することで動線（流れ）を良くする ⑰湖野辺駅南口から鹿沼公園までの道は路上駐車が多い（一方通行にすれば、スムーズになるのではないかと） ⑰一方通行にする車を運転する人は困らないか ⑰公園への視認性の確保のため図書館敷地には建物を建てない（デザインを複数検討） ⑰歩きたくなる導線づくり（歩道にしかけex.子ども（地元の小学校など）の作品展示…） ⑰交通量増加の対応は、いきなり交通規制（一方通行）をかけるのではなく、ゆるやかな案内表示、看板設置を行うなど段階的な取組が必要	⑰直線にした方がアクセスは便利 ⑰デッキを造る ⑰現在の図書館駐車場に建物が増えれば視認性が高まる ⑰視認性、アクセス性から何も建てない使い方が大切 ⑰図書館敷地（駐車場部分）は、駅から公園への視認性・アクセス性を高めるためにも、建物を建てない使い方が好ましい（課題解決を図るために大切なエリア）
③ 駅南口への2つのアクセス道路（渋滞時の歩行者と自転車の混在）	⑰自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞 ⑰駅前には自転車が多く、信号無視、違法な道路横断が多い ⑰国道16号から自転車駐車場へ向かう道は自転車が ⑰国道16号方面から自転車駐車場へ向かう2本の道は、自動車・自転車・歩行者が多い ⑰車も自転車も歩行者も多い ⑰歩行者は車・自転車に注意しながら通らなければならない ⑰朝に自転車が、夕方にも ⑰自転車が多くのバスが時間通りに来ないからでは（交通全体の問題が絡んでくるのでは） ⑰自転車駐車場に向かう2本の混雑道路が危険、安心して安全に歩ける、渋滞が発生しない等、交通の安全性の確保が課題 ⑰自転車駐車場が分散してしまうと、安全対策等で検討すべき範囲が広がる懸念あり	⑰駅前駐輪場を駅から遠くても、この問題は解決しないだろう（道をいじる時はしっかりと専門家を調べて調査してから） ⑰朝夕の危険・不便をなくしたい、自転車多くてなかなか右折できない（朝夕の交通規制？可能なら、自転車の青信号の時間を変える（朝集中する時間帯）） ⑰自転車が通る道を路面に表示して、安全性を確保できないか ⑰道幅を広げることで安全になるのか、よくシミュレーションする必要がある ⑰信号機は他の信号機と連動しており、時間を変えると渋滞を引き起こす可能性あり（よく検討することが必要）	⑰自転車駐車場が現在の位置にあるため課題が生じている、移転すれば解決するか ⑰（自転車駐車場が）駅前であるが故に、自転車、人、車が混雑するため、一部（機能）を分離すべき（渋滞・事故を減少させる） ⑰自転車駐車場を移すことで、交通の危険性等、新たな問題が出てくるので、今回の検討で決めるのは難しい
④ 公園内の道路等の必要性	⑰公園外周歩道の必要性 ⑰公園の外周の歩道は、新しくマンションができたところしかない ⑰出入口の検討 ⑰道が広がって車の通りが多くなると困る ⑰周囲道路に自転車レーンを置く必要性はあるのか？（地元の現状を関係者がよく知る） ⑰よく検討してから必要性を判断 ⑰外周道路の拡張はむずかしい、公園内の整備は可（外周道路の廃止は、今回（施設再編）の検討では難しい） ⑰ジョギング道などの調整が必要 ⑰現在の外周道路に自転車レーンを整備するのは技術的に困難 ⑰道路法の道路（図書館と公園の間）は単に廃止するのは困難	⑰自転車が通る道を路面に表示して、安全性を確保できないか ⑰必要なのは外周なのかもっと考えたい（公園の出入口の場所を改めてどこがいいのか考えてから園内をどう抜けられるか考えられないか） ⑰ジョギング道などの調整が必要	⑰ジョギング、健康づくりのための公園の周囲道路が必要（一方通行の工夫も必要検討） ⑰公園の外周にジョギングロードができればいい ⑰公園の外周に自転車が通れる道ができれば、園内を勢いよく通る自転車がなくなる ⑰公園の外周に自転車が通るところがあれば、公園内の安全と周辺道路の通りやすさ両方が改善できる ⑰周囲に歩道と自転車が通れる道、ジョギングコースがあればいい ⑰自転車が通れる外周を走り、公園内にスピードがある自転車が通らないようにしたい ⑰3つの用途のコースを設置（段差がなく、水はけ、ゴムチップ） ⑰外周をつくり、交通も、健康も（問題：歩行者・自転車利用者の安全性→自転車利用者路面で案内） ⑰ジョギングコースがあったらうれしい ⑰公園内で道路を確保し、歩行者と自転車の分離による安全対策を行うことは可能性あり ⑰健康（公園内にジョギングコースの設置）
⑤ 移動のしやすさを考慮した公園内の新たな出入口の検討	⑰公園の中に入れば安全 ⑰現在の出入口が鹿沼公園の味わいを出している ⑰公園内の公共施設や広場などの配置による	⑰施設配置により判断（利用者アンケート） ⑰公園内の通路とあわせて考えたい ⑰鹿沼公園の「奥深さ」を損ねない（出入口をかえない、効率や効率を追求しすぎて、せつけいをしない） ⑰今でている案だけでなく、他の可能性もあるのでは？（利用者や周辺に住む人が何の目的で公園に来ているか調査）	⑰公園の出入口の場所の変更や増設の検討 ⑰公園の南東側の角に歩行者が入れる入口を作れば、自動車・自転車が通る道を通らなくてよい（⇒角に入口を作るのは危くないか）

< 凡 例 >

- ⑩…第17回まちづくりWGの意見
 - ⑪…第18回まちづくりWGの意見
 - ⑫…第19回まちづくりWGの意見
 - ⑬…第20回まちづくりWGの意見
- 下線部分…ワーク中に付せん又はホワイトボードに記載された意見

第17～20回「まちづくりWG意見集計結果一覧4/5」

まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
		ソフト的な取組	ハード的な取組
⑩ 駅南口から見える公園内の工夫（景観形成・新たな出入口の必要性）	<ul style="list-style-type: none"> ⑩駅周辺に公園の魅力が伝わるような案内板の設置 ⑩駅に来て公共施設、公園に行ってみたいと思う仕組みづくり ⑩公共施設が見えないと遠く感じてしまうのでは ⑩公園の出入口を駅からの正面に移動させることで、スマートな人の流れができる ⑩奥深さを損なわない公園（入口を多く設けない） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩公園の魅力が伝わる案内板の設置 ・利用者の多い駅前設置 ・ex.「公園内歩くのみかん3個消費できる」 ・外からアプローチする「行きたい!」と思うような ⑩歩道に案内を設置、安全性の確保 ⑩案内表示について、歩行者の視線が歩道に向くので、歩道上に案内表示をすると効果的 ⑩キャラクターを活用して、案内看板や案内表示を作れば、経費をかけずに楽しみながら公園までに行けるのでは ⑩歩道に案内表示をすることで、公園の魅力だけでなく、安全性の観点から、人と車の動線が交錯しないような対応につながる（施設の誘導と安全性の誘導） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩駅南口から公園までの突き当りに出入口が必要（公園内にスムーズに入れるように） ⑩公園に新たな出入口を設置すると、場所によっては既存管理棟に当たる可能性あり ⑩公園の出入口の場所の変更や増設の検討 ⑩公園出入口を変更する（正面に）スマートな人の流れ（デザインを検討） ⑩駐車場部分が通れば、既存の公園出入口が生かせる ⑩視認性、アクセシビリティから何も建てない使い方が大切
⑪ 大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地	<ul style="list-style-type: none"> ⑪跡地の活用 ⑪お金かせげないとなりがたない ⑪財源が生み出せない施設規模の縮小も有り得る ⑪次世代のための土地（公民館敷地）を残す ⑪一度売却してしまうと戻ってこない ⑪課題解決のためにも跡地活用のアイデア ⑪まちの課題を解決するソリューションゾーンにならないか ⑪課題解決の土地として活用したい ⑪跡地の活用は計画時点の情勢を踏まえて判断 パブコメや検討会での意見はふまえて、それにとらわれることなく、大事にしつつ… ⑪本事業は財源確保とセットという考え方である ⑪公民館に人が集まっているということは、もともと来やすい場所 ⑪ロータリーに近接するまちセン・公民館跡地は、自転車駐車場の建替え（仮設か本設か）と関連して、課題解決を図るために大切なエリア ⑪公園内は自転車に乗るのは禁止だが、まちセン・公民館敷地に自転車駐車場を造ってしまうと、公園内を走る自転車が増加する可能性あり ⑪跡地活用は施設再編後（基本計画策定後の約6年後）となり、現在と実際の跡地発生時とは、ニーズ等の状況が変わるものとする。その時々々の情勢を踏まえて判断した方がよい。市民検討会やパブリックコメントを踏まえて、これだけにとらわれることなく、広く考えていく必要がある ⑪市の取組である森ラボ（森のイノベーションラボfujino）の実証実験のように、跡地活用も実証実験に取り組んでも良いのではないか ⑪財政的な課題もあるが、複合施設の再整備と並行して、その時々々の状況を見ながら、跡地活用を判断していけば良いのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪売却よりも定借が好ましい ⑪当面はトライアルで活用（例：何も建てない使い方）（北口と南口が繋がりがやすい関係になれるように） ⑪広場を求める声あり（イベントや災害時の活用） ⑪売却してしまうと、まちのコントロールが難しい（民間に貸す場合の条件などについて検討できない）→条件を付けてしまうと民間が提案しにくくなる場合がある ⑪跡地、△市で決めた施設、○住民の自由な利用（ex.芝広（町田）、大学生も参入しやすそう） ⑪地域で利用できる場として残す、公園のまち（売る・貸すのまえに、町田シバヒロのなまのがある駅前、公園につながる） ⑪跡地活用はここで決めるのではなく、将来の情勢も考慮して柔軟性を持って検討していくべき ⑪留保すべき跡地と財政収入（定借等）を得る跡地は、分けて整理する ⑪地域の商店街、大学生、こどもの催しでの活用等、北口南口のつながりや交流を深める ⑪跡地活用の実証実験をしたらどうか ⑪跡地活用の運営部分を公共、民間のどちらに任せるか（公共に任せておき放置してしまう） ⑪跡地活用のアイデアとして、町田市役所跡地のシバヒロのように、市民が自由に使えるスペースも良いのでは（売る・貸すを決める前の活用として） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪公民館跡地を駐車場にしたらどうか ⑪自転車駐車場を駅前に残す意見が多い（建替時に大野北まちづくりセンター・大野北公民館の跡地を仮設の自転車駐車場として利用してはどうか） ⑪歩行者だけでなく車の動線アクセスも意識（大野北まちづくりセンター敷地との一体的な活用） ⑪自転車駐車場を現地建替える場合、仮設の設置場所として活用可能（課題解決を図るためのエリア） ⑪財政的にはまちづくりセンター・公民館跡地に仮設ではなく、本設で建替えた方がよい場合あり ⑪施設再編が先で自転車駐車場の建替え、跡地活用はその後のことで全部結論を出すのではなく、継続しての議論が必要（予算上の問題もあり優先順位を付け、段階的にやることを考えるべき） ⑪施設再整備で実質的な公園スペースが減るので、交流等のオープンスペースにすることも一考
⑫ 図書館敷地（一部）	<ul style="list-style-type: none"> ⑫公園の出入口について、アクセスを意識して、駅から鹿沼公園までの道を直進したところに入口を作った方が良いという意見と、現在の出入口を維持し、ゆっくり歩いていただきたいという意見がある 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫今の図書館の駐車場の敷地に歩ける道を造れば、現在の公園の出入口のままでも良いのではないかと。また、視認性も高まるのではないかと ⑫歩きやすい、歩いて安心というだけでなく、芝生広場のちょっとしたスペースにキッチンカー等が出るとことで、交流（北口も含む）やにぎわいを生み出す効果あり（例：図書館敷地の一部等を活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫現在の図書館駐車場に建物が増えれば視認性が高まる ⑫図書館敷地に駐輪場を移設（事故を減少させたい、渋滞を減らしたい、金を生みたい） ⑫駅からの入口大切にしたい（建物は建てずに広がりをも） ⑫図書館敷地に一部自転車駐車場を設置するのの一考 ⑫駐車場部分が通れば、既存の公園出入口が生かせる ⑫視認性、アクセシビリティから何も建てない使い方が大切 ⑫図書館跡地も自転車駐車場の候補地（施設配置の状況にもよる）

第17～20回「まちづくりWG意見集計結果一覧5 / 5」

<凡 例> ⑰…第17回まちづくりWGの意見 ⑳…第20回まちづくりWGの意見
 ⑱…第18回まちづくりWGの意見 下線部分…ワーク中に付せん又はホワイトボードに記載された意見
 ㉑…第19回まちづくりWGの意見

	まちなかの検討項目 等	現状・課題／考え方・方向性 等	具体的な意見・アイデア	
			ソフト的な取組	ハード的な取組
その他	駅北口	㉑北口と南口の関係・つながり ㉑車で南口にアクセスしにくい ㉑人口は増えている ㉑駅北側にも大野北地区の住民が多いため、北口からアクセスしやすいまち ㉑北口からのアクセスの工夫 ㉑北口・南口をつながり	㉑北と南の単なる差別化では無く「交流」でつないでいく ㉑地域の商店街、大学生、こどもの催しでの活用等、北口南口をつながりや交流を深める場、跡地活用の実証実験をしたらどうか ㉑北口と南口の連携について、商店街のイベントを南口で開催、学生のイベントを公園で開催する等 ㉑歩きやすい、歩いて安心というだけでなく、芝生広場のちょっとしたスペースにキッチンカー等が出ることで、交流（北口も含む）やにぎわいを生み出す効果あり（例：図書館敷地の一部等を活用）	㉑ここしばらくは北口にも公民館が必要な状態
	跡施設（図書館）	㉑図書館の建物は残したい ㉑跡施設（建物）の取扱い ㉑図書館の施設を残す		
	鹿沼公園・新たな施設	㉑まちづくりのカタチの中で浸透していること（公共施設に人が集まりやすい） ㉑施設で人流を生み出し、いかに稼ぐか（民間の視点） ㉑コミュニケーションの場の持ち方、どうあるべきか ㉑コミュニケーションから、公園や施設にどのようなものを求めるか ㉑施設の老朽化対策は、次世代に引き継ぐ災害に強いまちをつくるために必要。市民サービスの継続は大きな責任 ㉑まちづくりセンターは、駅南口周辺の住民のためだけでなく、大野北地区の全ての住民のためにある	㉑淵野辺に図書館があることを知らない学生がおり、駅での案内が足りないのでは	㉑建物の配置や敷地の取り方によって変わる（開発・建築のルール） ㉑道路整備や歩道設置等の義務あり（開発・建築のルール） ㉑財源が生み出せない施設規模の縮小も有り得る ㉑一体的な土地利用に当たって、既存道路（図書館と公園の間）がネック（他自治体では道路を無くしているケースあり） ㉑公園内に（まちづくりセンターを）設置するには、立休都市公園という手法が必要 ㉑まちづくりの視点から、複合施設・自動車駐車場の位置を野球場にすることも一考（影響が少ない等） ㉑野球場を廃止し、駐車場と複合施設に
	自動車駐車場（鹿沼公園・新たな施設）	㉑施設再整備後の影響による新たな問題発生（駐車場不足、違法駐車） ㉑設置場所や入口・出口の場所によっては、地区内の道路が渋滞し、円滑な通行を妨げる恐れあり	㉑図書館、公園の駐車場が少ないから、道が混むので、有料にすることで解決できないか	㉑自動車と歩行者が交錯しない動線の検討が必要（施設の出入口から近い場所に設置するなど） ㉑駅に近いが車で来る方もおり、一定の駐車場は必要 ㉑図書館、公園の駐車場が少ないから、道が混むので、駐車場を増やせばどうか ㉑歩行者目線のまちづくり、モータリゼーションから離れたまちづくり（駐車場の縮小など） ㉑野球場を廃止し、駐車場と複合施設に



第17～20回まちづくりWGから得られた「まちづくりのコンセプト」への示唆

事務局で整理した案

様々な考え方・アイデア

- * 公園内の外周に歩行者等も通れるジョギングコースなどが欲しい
- * 公共施設に人が集まりやすい
- * 施設の老朽化対策は、災害に強いまちをつくるために必要
- * イベントや災害時に利用できる広場が必要
- * 緑や空の広さを残す、風景の価値を高める
- * 公園への視認性・アクセス性確保のため、図書館敷地（駐車場部分）の使い方（何も建てないなど）を要検討
- * 公園の魅力が伝わる、行きたいと思うような案内板の設置
- * 楽しみながら公園まで行けるよう、歩道に案内表示を設置
- * 歩きたくなる道（ウォーカブルなまち） など

様々な考え方・アイデア

- * 地元小学生などの作品展示をする（歩きたくなる道を演出）
- * 北口と南口の様々なつながり方が必要（交流による地域づくりなど）
- * 買物困難者（高齢者等）は線路を越えるのが大変、一定規模の店舗は必要
- * 駅前が暗く安全性確保のため、通路の脇にフットライトを設置
- * 公園外周に自転車を通れる道があれば、園内・周辺道路の安全確保が可能（歩行者と自転車の動線の分離）
- * 朝夕の交通混雑の緩和（自転車路面標示や信号機時間調整等）や公園周辺道路の交通誘導又は交通規制（一方通行等）の検討
- * 自転車駐車場の建替え場所（現在地又は移転）及び市有地の活用検討
- * 自転車駐車場利用者へのアンケート調査の実施
- * 施設再編と合わせたロータリーの必要最小限のレイアウト検討（憩いの場の創出や魅力ある案内板の設置等）
- * 施設再編後のまちの動向を踏まえた将来のロータリーの再整備検討 など

様々な考え方・アイデア

- * 「多世代交流」→「コミュニケーション」→「ゆるやかなつながり」
- * 新たな施設への人流を増やし、にぎわいをつくる
- * オープンスペースにキッチンカー出店など交流やにぎわい空間の創出
- * 楽しみながらお金を落としてくれるようなまちに見合った店舗
- * 次世代の様々なニーズのために市有地（自転車駐車場、まちセン・公民館跡地）を残す（売却せずに定借など貸付で）
- * 跡地はトライアル、実証実験でまずは利活用（市民や民間主体の使い方）
- * 必要な施設整備を行うための財源が必要
- * まちセン・公民館跡地の活用方法の可能性検討（例：何も建てない使い方、自転車駐車場建替え時の仮設又は本設用地、財源を生み出す使い方等） など

キーワード

- ◆健康・レクリエーション
- ◆防災・減災
- ◆環境・景観

みどり

目指していく姿

<キャッチコピー>

まち全体がウォーカブルパーク!!
 ~人・活動・居場所がゆるやかにつながる~
 「ちよどいイまち・淵野辺」

キーワード

- ◆文化・地域づくり
- ◆福祉・安全・安心
- ◆利便性（買い物・交通・使いやすさ）

すみやすさ

<大切な視点>

- ゆるやかなつながり・ゆるやかなまちづくりが大切
- まちなかの交通の安全・安心が大切
- まちづくりの視点をしっかり持ち、市民・民間・行政で連携して継続していくことが大切

キーワード

- ◆交流・活動・楽しめる
- ◆民間活力
- ◆既存ストック利活用

にぎわい

<コンセプト>

- 緑と文化のシンボル、そして地域の居場所である鹿沼公園と図書館
 ~本文参照~
- 健康的に歩いて楽しめるまちは、皆にとっても安全・安心な交通環境が整ったまち
 ~本文参照~
- 相互に関係し合う公共施設再編とそれに伴うまちの課題解決のための取組
 ~本文参照~

●まちづくりWGの全体会

【約20分】

「オープンハウスのパネル（案）を確認します！」

オープンハウスのまちづくりWGのパネル（案）について、事務局から説明を行い、内容の確認を行います。

～次回の市民検討会の検討内容について～

オープンハウスで使用するパネル（案）の最終確認を行う予定です！

